

平成15年7月1日

少数台数のリコール届出の公表について（平成15年6月分）

リコール対象が少数である100台未満の届出について、平成15年6月は下記のとおり3件の届出がありましたので、公表します。

1. 届出者：小松フォークリフト株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
6月3日	948	車名：小松 型式：M156等 通称名：-	97	平成8年5月29日～ 平成15年4月11日
不具合の部位等	制動装置において、ブレーキ弁押付けボルトの強度が不十分なため、強い制動操作力で使用を続けると、当該ボルトが折損し、ブレーキ操作ができなくなるおそれがある。			

2. 届出者：ピー・エー・ジー・インポート株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸入期間
6月12日	外-1028	車名：ランドローバー 型式：GH-LT94A 通称名：ランドローバーデイスガリー	12	平成14年8月27日～ 平成15年4月6日
不具合の部位等	原動機において、スロットルボディの加工が不適切なため、内部に取り付けられたスロットルバルブが円滑に作動しないものがあり、最悪の場合、アクセルペダルを離しても、原動機の回転が下がらなくなるおそれがある。			

3. 届出者：三菱重工業株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
6月17日	951	車名：三菱 型式：KFB1A 通称名：三菱バッテリー式フォークリフト	20	平成11年2月22日～ 平成13年5月9日
不具合の部位等	原動機において、走行モータ（電動機）を車体に取り付けるブラケットの形状が不適切なため、走行時の振動により当該ブラケットに亀裂が生じ、又はそのブラケット取り付けボルトが折損することがあり、最悪の場合、破損して走行モータが跳ね上がり、その上部に取り付けられている電源供給用のリレーを破損して走行不能となるおそれがある。			

[参考]

平成15年6月のリコール届出総件数		内 訳	
		対象台数100台以上	対象台数100台未満
国産車	8 件	6 件	2 件
輸入車	8 件	7 件	1 件
計	16 件	13 件	3 件

(問い合わせ先)

国土交通省自動車交通局技術安全部審査課
リコール対策室 森田、久手
電話 03-5253-8111 (代表) (内線42352・42353)
03-5253-8597 (直通)